

露地栽培原木しいたけの産地再生に向けて ～地域経営推進費を活用した取組事例～

1 はじめに

県南広域振興局では、平成27年度から、地域経営推進費を活用し、露地栽培原木しいたけの産地再生に向けた取組を進めていることから、胆江地区における取組事例を紹介します。

2 生産者の支援体制

県南広域振興局では、原木しいたけの出荷制限解除後の安定した生産体制の確立を支援するため、種菌メーカー等民間技術者による「県南広域原木しいたけ産地再生応援隊」(以下「応援隊」)を平成27年5月に結成しました。

昨年度に引き続き、応援隊構成員による打合せ会議を4回開催し、県から情報提供を行いました。また、栽培管理や原木確保対策等についての意見交換を行ったほか、栽培管理チェックシートの使いやすさの検討を行い、平成29年から使用を開始することになりました。



【応援隊打合せ会議】

3 地域リーダーによる指導

胆江地区では、しいたけ生産技術指導地域リーダーを応援隊のメンバーに加え、生産者への巡回指導を行いました。

指導は、昨年度に引き続き、県林業普及指導協力員でもある菊池 司 氏に依頼しました。

菊池氏には、経験の浅い生産者を対象に、今後もほだ場の巡回指導をお願いする予定です。



【生産者からの聞き取り】



【活着状況の確認】

4 しいたけ栽培管理研修会の開催

2月14日に開催した「胆江地区原木しいたけ栽培管理研修会」において、菊池氏及び林業技術センターの成松上席専門研究員を講師に、しいたけ栽培の基本や栽培管理の留意点等について研修しました。

生産者は講師のお話にうなずきながら、熱心に聞き入っていました。



【栽培管理研修会】

5 おわりに

今後も引き続き、現地指導及び生産者研修会の開催等により生産再開の支援を進めるとともに、来年度は新たに、販売促進に向けた取組を進めていく予定としています。